



2026年5月8日

各位

会社名 住友金属鉱山株式会社
代表者名 代表取締役社長 松本 伸弘
(コード番号 5713 東証プライム)
問合せ先 広報IR部IRグループ長 井上 敦行
(TEL. 03-3436-7705)

フィリピン子会社のITシステムへの不正アクセスに関するお知らせ (続報)

当社が4月8日(水)に公表しましたフィリピンのニッケル製錬子会社であるCoral Bay Nickel Corporation (本社: フィリピン共和国パラワン州、以下「CBNC」)の一部サーバにおいて、第三者の不正アクセスによるランサムウェア感染被害が発生した件につきまして、以下のとおり本件の経緯、対応および影響をお知らせいたします。

取引先様、関係者の皆様にご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

1. 本件の経緯と対応

4月2日(木)、CBNCのサーバ2台が暗号化されていることを検知し、第三者の不正アクセスによるランサムウェア感染被害が原因と想定されたため、直ちに該当サーバの隔離措置を実施しました。

その後、侵入経路の特定、影響範囲の調査、システム・データの復旧などを行うとともに、CBNCを含む当社グループにおける不正アクセス対策を強化しました。

2. 本件の影響

(情報漏えい)

本件に関して、個人情報や技術情報などの漏えいはこれまで確認されておりません。

(生産)

CBNCの生産プラントへの影響はなく、サーバの暗号化確認以降も、操業を継続いたしました。

また、CBNC以外の当社グループの各鉱山・製錬所・工場の生産活動への影響もありませんでした。

(通信)

CBNCを含むフィリピン共和国内の当社子会社3社において、通信ネットワークを遮断していましたが、現在は復旧しております。

(業績・決算発表)

本件による当社グループの2026年3月期の業績への影響はなく、決算発表に関しても予定どおり5月11日(月)の開示を予定しています。また、2027年3月期の業績への影響は軽微と考えております。

以上